

3 月 17 日 チリ北部沿岸の地震

2014 年 3 月 17 日 06 時 16 分（日本時間、以下同じ）に、チリ北部沿岸の深さ 20km で Mw6.7 の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁による CMT 解）が北東－南西方向に圧力軸を逆断層型で、沈み込むナスカプレートと南米プレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震について同日 06 時 45 分に遠地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で小さな津波発生可能性があります、被害をもたらす津波の心配はありません。この地震による日本への津波の影響はありません」）を、また、同日 08 時 02 分に同情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません」）を発表した。

今回の地震により津波が発生し、チリのパタッシュ（Patache）で最大 26cm の津波を観測したほか、チリとペルーの沿岸で 10cm 前後の津波を観測した。

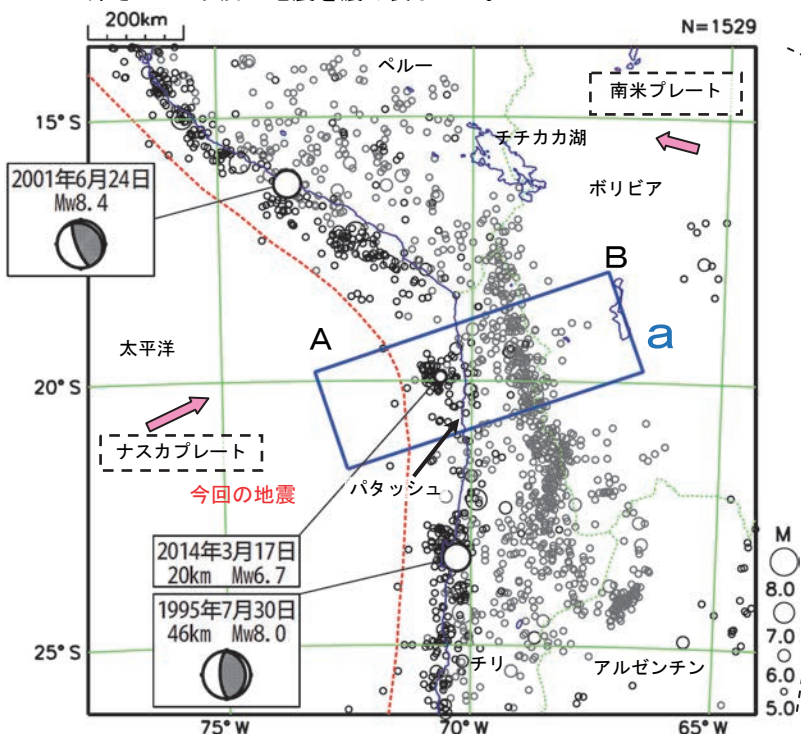
今回の地震の発生以降 3 月 31 日までに、今回の地震の震源付近（領域 b）で M6.0 以上の地震が 3 回発生している。

1963 年 1 月以降の地震活動を見ると、領域 b では M6.0 を超える地震は 2008 年 2 月（M6.2）と 2009 年 11 月（M6.4）に発生している。また、周辺では、1995 年 7 月 30 日に Mw8.0、2001 年 6 月 24 日に Mw8.4 の地震が発生しており、いずれの地震でも津波が発生し、日本を含む太平洋の広い範囲で津波を観測している。

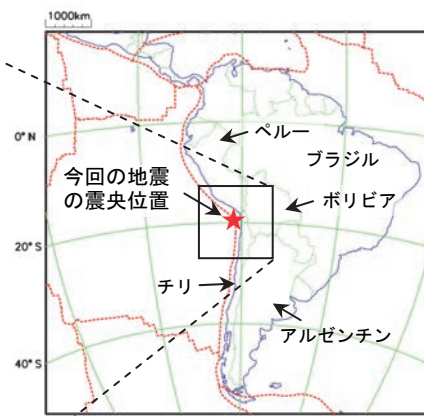
なお、今回の地震の震源付近で、2014 年 4 月 2 日に Mw8.1 の地震が発生している（詳細は次号）。

震央分布図*

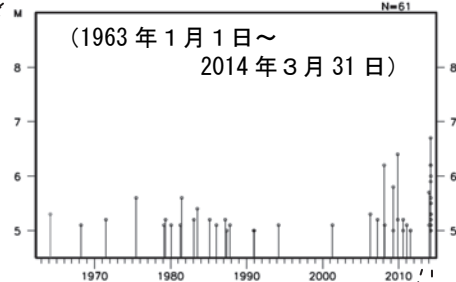
(1963 年 1 月 1 日～2014 年 3 月 31 日、深さ 0～200km、M≥5.0)
深さ 50km 以浅の地震を濃く表示した。



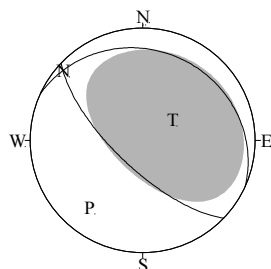
..... プレート境界の位置
← プレートの進行方向



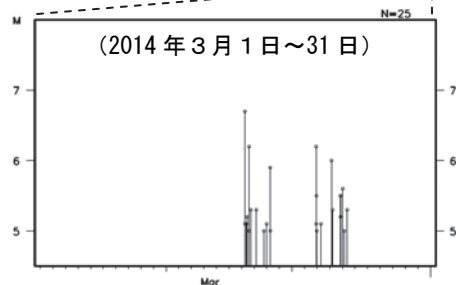
領域 b 内の M-T 図



今回の地震の発震機構
(気象庁による CMT 解)



領域 a 内の断面図
(A-B 断面)



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。また、1995 年 7 月 30 日、2001 年 6 月 24 日の地震の Mw は Global CMT による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS)、津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による (いずれも 2014 年 3 月 31 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.